

あぷろうち

～ approach ～



日本労働組合総連合会
群馬県連合会（連合群馬）

発行人 金子 裕昭
編集人 新井 智

〒379-2166
群馬県前橋市野中町361番地2
(群馬県労働福祉センター2F)
TEL 027-263-0555
FAX 027-261-0549
Eメール info@gunma.jtuc-rengo.jp
URL http://www.rengo-gunma.gr.jp/

2014年11月号
No.232

働く仲間の結集で、安心・安定社会の実現!!



10月25日、伊勢崎市文化会館において、第19回定期大会を開催し第14期の活動がスタートをきりました。

第14期の活動にあたっては、組織人員の伸び悩み、財政構造問題、働く者の立場に立った連携できる議員の減少など、課題が山積しており、連合群馬・産別・地協が一体となり、目標の実現と課題解決に向け、「働く仲間の結集で、安心・安定社会の実現!!」を活動の基本目標に据え、すべての県民の不安を払拭すべき取り組みの実践を確認しました。

会長あいさつ

連合群馬の活動をそれぞれの職場で、地域で積極的に進めていただき、心から感謝を申し上げます。

最近、世の中のことを見てみると、豪雨により広島県を襲った土砂災害や御嶽山の噴火など、予期しないことでたくさんの仲間が命を落とす、或いは災害に見舞われるなど、心からお悔やみを申し上げます。

さて、私たちが平日生活、仕事をする中で、社会の状況に大きな視点で目を向けると、政府の経済対策によって確かに景気は回復基調と、一部では、そういう兆しがあると思いますが、職場で実際に汗して働く勤労者の視点で見ると、物価、消費税が上がる、数年来のテーマである年金を含めた社会保障問題など、依然として将来不安が残っています。

また、働き方を見れば、非正規の労働者が4割弱、年収200万以下のワーキングプアが2割強(24%)、加えて、国政では、労働者保護ルールの改悪、政治資金の使い方など、私たちの生活実感とのギャップを感じ、安心、安全、安定という肌感覚にはほど遠いと思うわけであります。

従いまして、こういう時代だからこそ、私たち連合に集う仲間の結束力、或いは運動の役割は、高まっていると考えます。

その上で、「すべての県民が安心して暮らせる地域社会の実現」これをキーワードに、連合本部が唱える「働くことを軸とする安心社会」を目指して、構成組織、産別、地協、県連合がその役割と責任を明確にしながら活動を進めている所であります。



第14期にあたっては、4点に絞って大事な視点について心合わせを行いたいと思います。まず1点目は、組織の強化、拡大であります。

すべての活動の原点は、健全な労使関係の下に事業が発展していくことが大切であり、そのための組合作用に向けた支援の強化が必要だと思っています。その意味合いで、1000万連合に向けた組織作りです。

2点目は、地協の充実強化です。連合群馬の役割というのは、連合全体の社会的な運動のうねりの中で、全員で参画をしてその活動を押し上げていく、成果を出していく。地域の中でそれぞれの現場で起きていることをお互い知恵を出し合い、協力しあい、手を握り解決していくことだと思います。地協活動の強化は、連合群馬の活動の基盤であると改めて認識を共有したい。

3点目は、労働条件の底上げです。春闘では、デフレからの脱却と経済の好循環を実現させ、社会的な大きなうねりを強く意識して取り組んでいきたい。

最後、4点目は、政策制度改善と政策実現に向けた政治活動という視点です。仲間と共に実行性ある政策を作りあげ、引き続き改善に結び付けていきたいと思っています。合わせてそれを実現させるためには、当然、議会が関わってくるわけで政治活動の重要性を今まで以上に強くみんなで認識し合う、各地域、産別を代表するリーダーと共に、強力なリーダーシップのもと、連合推薦議員全員当選に向けて、力強く活動を進めていければと思います。